



人々を惹き付ける熊野信仰の拠点

「熊野本宮大社」



大斎原の大鳥居

熊野三山の一つ、熊野本宮大社は、もと大斎原と呼ばれる、熊野川とその支流の音無川・岩田川が合流する中州に鎮座していましたが、明治22年の大水害によって倒壊流失したため、同24年に現在の場所に遷座しました。御祭神は「熊野十二所権現」と呼ばれる十二柱で、主祭神は「家津美御子大神」です。大斎原のイチイの木に、神が三体の月となって降りたという伝承から、信仰の起源が自然崇拜にあると想像されます。

熊野の大自然に靈感を感じた古の人々は、始めにそれを土地の神として祀ったのですが、熊野を修行の場と定めた修験者たちの働きもあり、熊野に対する信仰が広まっています。



桐唐草双鏡
瑞祥を表す亀や鶴を配し、下方には五三桐の桐唐草文を大きく表した和鏡で、技法から室町時代後頃の製作といわれています。



鉄湯釜
源頼朝公が奉納したもので、奈良東大寺所蔵の「鉄湯船」に次ぐ日本で二番目に古い釜です。湯立神事に使用していたものと考えられています。



牛王と起請文
本宮神職の各家で取り決めごとを交わした起請文です。冒頭には熊野古来の御札「熊野牛王神符」を貼り付けています。



剣（銘：上野大掾國益）
密教で山中を駆け回る修行の折に護身用として使用したもので、現在でも修験者が護摩法要を営むときに法具として用いています。

熊野への参詣で、難行苦行の道のりを終えて、たどり着く熊野本宮大社は、「蘇りの地」「再生の地」として古来より多くの人々が訪れた聖地です。平安時代には都の上皇や法皇、貴族たちの熊野参詣が盛んになり、以降の時代には、若男女を問わず全てを受け入れる神として知られ、ますます参詣者が増えています。

その様子は「蟻の熊野詣」と表現されるまでになりました。

世界遺産に登録された後も、パワースポットとして国内外から観光客が訪れます。

※熊野本宮大社の社殿は、平成7年に国の重要文化財に指定されました。

After a journey filled with hardship and difficulties, pilgrims finally arrived at the Kumano Hongu Taisha Grand Shrine. Since being registered as a UNESCO World Heritage Site, it has gained fame as a "power spot" and attracts many visitors from both Japan and abroad.

歴史を刻みながら、未来に向かって祈る

2000年近い歴史を持つ熊野本宮大社は、熊野三山の一つ。それぞれの神社は時間的な意味合いを持っており、熊野速玉大社は「過去」を表し、過去の自分を見つめ考える場所。熊野那智大社は「現在」。今の自分の立ち位置をしっかりと確認する場所。そして熊野本宮大社は「未来」。未来に向かって祈りをささげる場所であるといわれています。

熊野本宮大社は、地域にとってどのような存在であり、今後どのように関わっていくのかを、熊野本宮大社の宮司 九鬼家隆さんに話を聞いてみました。

「どんなに歴史があるうと、格式が高かろうと、お



熊野本宮大社 宮司 九鬼 家隆さん

参りに来てくださる人がいなければ神社としての存在価値はないと思います。様々な人がまとまって、まちはできています。地域の人があってこそ熊野本宮大社でありますから、まちなめにもどんどん活用してほしいんです。平成23年の台風で紀南地方が大変な被害に遭ったとき、仕事を休んでも真っ先に駆け付けてくれた若い人たちがたくさんいました。自分たちのまちな深い愛情を持ち、行動に移す若者たちが、これからのまちづくりの中心になっていくのでしょうか。私は、素晴らしい若者たちに期待し、彼らを精一杯応援していきたいと考えています」

Kumano Hongu Taisha Grand Shrine's head priest, Mr. Ietaka Kuki, asserts that the youth of Hongu hold a deep love for their town, as seen in their volunteer work after the devastating typhoon in 2011. "They (the youth) are quick at taking action, and will surely be big influences toward community development from this point on."

神門が開いた時、真正面に神殿があるのは全国でも熊野本宮大社のみです。目の前に神様が現れることを意味し「心の門」と呼ばれています。